

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

11

November
2023

山形県中小企業家同友会

月刊 同友 やまがた



2023年新入社員フォローアップ研修



よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす
中小企業経営者の全国組織

2023年度スローガン

人を生かす経営の実践で

新時代にチャレンジしよう

半年間を見つめ直し、 なりたい自分を考える



10月5日、山形流通団地組合会館にて社員共育委員会主催の新入社員フォローアップ研修が開催され、36名の新入社員のほか、経営者や先輩社員など総勢57名が参加しました。

冒頭、庄司 薫社員共育委員長が「今日の目的は半年間を振り返り、どんな社会人になりたいのか目標を立てること。この研修を終えた後は、すっきりした気持ちで明日の仕事に向けてやる気を出していただきたい」と挨拶を述べ、研修が始まりました。

体験報告は(株)カーサービス山形 佐々木 龍真さん、(株)菊池技建 石黒 叶大さん、(有)スエヒロ 奥山 舞さんが担当。その後、(株)フロッツ 常務取締役 五十嵐 久仁子氏より「自分ブランディングのすすめ」と題し講義をいただきました。

五十嵐氏はまず、中小企業に就職するメリットとして、トップとの距離が近く想いを共有しやすい点や、人数が少ないからこそ一人ひとりの個性を発揮しやすい点を挙げ、企業が新入社員に大きな期待をかけているということを強調しました。

そして、「自分ブランディング」として、大企業のブランディングを例に挙げながら「大企業へと成長するような企業は、大きくなる前から自社がなぜ存在しているのか、どんな会社を目指しているのかを明確にしてきた。それと同じように、自分とは何者かを考え、組織の中でどんな風に

活躍できるかを明確にして、宣言してほしい」と呼びかけました。受講者は配布されたシートをもとに自身の機能的価値と情緒的価値について考え、提供できる価値と目指す姿をグループで発表し合いました。

ワーク後は、実際に五十嵐氏が社員から聞いた、仕事の辛さを乗り越えてきた先輩の体験談を交えながら、上司や先輩、友達、親など周りの人に相談することや、休日にリフレッシュすることの大切さを語りかけました。最後は『三人のレンガ職人』という寓話を例に出し「同じ仕事をしていても捉え方によって働く意識は変わり、それによって自身の未来も変わることを知っていてほしい」と講義を締めくくりました。

続いて行われたグループ討論では「仕事は楽しいですか？」をテーマに半年間を振り返り、嬉しかったこと、悩んだこと、失敗したことをお互いに共有し、入社してからの成長を再確認しました。

午後にはお互いの課題や目標を「知識要件」「技能要件」「どんな社会人になりたいか」という3つの切り口で話し合い、一人ひとりが壇上で決意表明を行いました。

最後に、高橋 明座長がまとめとして研修の内容を振り返り「可能性を生かすも殺すもあなた次第。自分自身を俯瞰し、自分を信じてありたい姿を追求して欲しい。必ずあなたのライフワークは見つかるはずだ」とメッセージを送り、閉会となりました。



私は、カーサービス山形NCF店で板金塗装をしています。まず、入社してすぐに3カ月の研修がありました。板金塗装部門で入社したのですが、研修では整備の業務を行いました。一日でも早く板金塗装の技術を身に着けたいと思っていたので、研修が始まるまではモヤモヤした気持ちを抱えていました。しかし、いざ研修が始まると、整備でも板金塗装でも車に携わる仕事ということは同じであり、車の構造やメーカーごとの整備方法の違い、車種ごとの注意点など板金塗装でも活かせる技術が沢山ありました。その他、社会人としての責任や、学校と違ってお客様の車を扱う緊張感など、仕事に対する姿勢が少しずつ身につけていきました。始まる前は不安でしたが、終わってみると「整備部門で研修ができて良かった。この技術を板金塗装でも活かしていこう」と思える良い研修でした。7月には配属先が決まって、板

金塗装の仕事が始まりました。配属された店舗では板金と塗装が分かれており、私は最初、塗装の方で仕事を始めました。学校とは別の方法での作業や、使っている塗料や工具の違いなどに最初は戸惑いましたが、困る私に先輩方が優しく声をかけてくださり、少しずつ仕事を覚えることができました。それでもミスをしてしまい落ち込むこともありましたが、先輩方が「ミスは誰でも通る道で、勉強の機会。そんなに落ち込まず、原因を考えて次同じミスをしないようにしていけばいい」と声をかけていただき、落ち込むだけではなく、次どうすべきかを考えることが重要だと学びました。そして2か月間の塗装部門での業務が終わり、今は板金部門で作業をしています。まだ始めたばかりですが、冬の繁忙期に向けて技術を磨き、お客様に満足していただけるサービスを提供できるように頑張っていきたいです。一人前になるには時間がかかりますが、めげずに前向きに、一日一日精進していきたいと思います。

(株)菊池技建 石黒 叶大さん



4月の新入社員研修で、私は「挨拶をすること」と「メモをすること」の2点が大切だと聞きました。挨拶をすることで名前と顔を覚えてもらい、メモをとることで後に見返すことができます。私が初めて実践したことは元気良く積極的な挨拶です。爽やかな好印象を与え、名前と顔を覚えてもらえるよう努力しました。その結果、現場や事務所内で会話が増え、仕事について他の人に質問しやすくなりました。次に実践したことは、教えられたことはメモをとり、メモやマニュアルを見返して自分で考え、それでも分からない場合だけ先輩や上司へ聞くようにすることです。分からないからと何度も質問しては自分の身になりません。考えることは成長につながり、記憶にも残ります。そして、私が今後取り組みたいことは2つあります。1つは先輩方に近づくことです。日々の業務を難なく終わらせる先輩方の姿はとても格好良いで

す。先輩方に近づくためには知識と経験を増やすことが大切です。そのためにも、現場では一つでも多くのことを学ぶよう心がけています。失敗もありますが、上司や先輩方にフォローしていただいている分、失敗を糧に次につなげていきたいです。2つ目は、弊社の理念である「『匠の技』と『真心』の信頼企業」の実践です。『匠の技』を身につけるため、知識や技術を学び、お客様の要望に応えられる人材になりたいです。そして『真心』の信頼企業であるために、「もし、私の家だったら」とお客様目線で考え、良い家を引き渡し、心の底から感動してもらえるよう業務に励みます。私が初めて工事を担当した時、お客様からの要望で玄関とトイレに手すりをつけました。お客様から「手すりが出来て本当に楽になった」と喜んでもらうことができ、とても嬉しくやりがいを感じました。これまで行ってきたことを引き続き実践し、人間として、社会人として頼られる現場監督へと成長できるよう努力を続けてまいります。

(有)スエヒロ 奥山 舞さん



私の働く「みんなのそら」は、小学生から高校生までの障がい児が利用する放課後等デイサービスを行っています。私の業務内容は子どもとかかわり見守ることや、保護者とかかわること、利用児童の登録、活動をSNS等で配信すること、学生ボランティアの募集・受け入れ、企業説明会への参加などです。私が半年間を振り返って学んだことは2つあります。1つ目は確認の大切さです。私は入社前の実習で各施設の場所は把握しているつもりでしたが、施設の移転に気付かず、前住所に行ってしまったことがありました。認識不足を反省するとともに、お互いに知っているつもりで実は解釈が違うことがあると気づき、それからはスタッフだけではなく、保護者や子どもたちに伝える時も、明確に分かりやすく伝え、しっかり確認することを意識するようになりました。2つ目は、仕事は準備業であるということです。私は社内

で行われたマナー講習の講師をする機会がありました。上司や先輩にどうしたら分かりやすく伝えるかを考え、資料や作法を何度も確認し、しっかりと事前準備をしました。その甲斐あって、上司からは「マナー研修を受けて、今までの自分のやり方が間違っていたことに気付かされた。ありがとう」と言葉をいただきました。この経験から、準備することで自信が付き積極的に物事が進んで、行動の質が向上することに気づきました。私は働く上で「何のために働くか」を考え続けています。今、問われたら「子どもたちや保護者の笑顔のため」と答えます。自作の遊びを気に入ってもらえたことや、子どもたちの出来るが増えることはとても嬉しく、やりがいを感じます。今後の目標は、指導員として子どもとかかわり方をスキルアップすることです。3年後は児童発達支援管理責任者の資格が取得できるようになるので、それを取得し、支援計画の作成等を任せられるような人材を目指していきたいと思います。

学校と企業が力を合わせ若者が輝く地域をつくる

今年度の共同求人委員会は「社会共育活動の総合実践、自己変革する強靱な企業づくりで地域貢献価値を高めよう！」のローガンを掲げ活動してきました。今回は、インターンシップと、各学校と連携した取り組みをご紹介します。

山形大学低学年インターンシップ&成果報告会

9月14日、山形大学低学年インターンシップの成果報告会がオンラインで開催されました。この低学年インターンシップは9年前より山形同友会と山形大学が連携して取り組んでおり、今年度は会員企業26社が山形大学の1年生26名を受け入れました。各企業では業務体験のほか、研修、企業研究、キャリア学習など、多彩なプログラムが実施されました。

報告会当日は、学生が受入先での3日間の実習の成果を発表し、受入先が総評する形式で行われました。学生は、個人目標の達成状況、中小企業のイメージの変化と魅力、自分にとって働くとは何か等のポイントで3日間の成果を発表し、「中小企業の印象がいい方向にがらりと変わった」「仕事が、お金だけでなく誰かの笑顔、自分のやりがいや楽しさにつながることを学んだ」「今後は自分の学部学科に限らず広い視野を持っていきたい」などの成果が報告されました。

受け入れ先の担当者・経営者からは、学生の発表に対する総評、感想、そしてこれからの大学生活に向けてのエールが送られました。

この低学年インターンシップは採用を目的とせず、受入企業側としては「採用力の強化」「自社の認知度や理解度の向上」「自社の社員教育・組織活性化」などのメリットがあり、学生、企業、双方が成長する取り組みです。山形同友会は、来年度以降も引き続き、各学校と連携を図りながらインターンシップに取り組んでいきます。



同友会事務局でのインターン

学校と連携した取り組み

学校と連携したインターンシップのほか、学校内での業界セミナー・企業説明会にも重点的に取り組みました。

7月5日には、米沢女子短期大学で「山形県内中小企業紹介セミナー」を開催。ミニセミナーと各社の個別セミナーで、地元中小企業の魅力を伝え視野を広げる機会としました(詳細は『同友やまがた』8月号をご覧ください!)

同月25~27日には、東北芸術工科大学との共催で「業界・仕事研究セミナー」を開催。3日間で会員企業12社に対し延べ88名の芸工大生が参加しました。本セミナーは採用を目的とした企業説明会ではなく、参加学年を問わず、中小企業の役割や働き方を学ぶとともに、幅広い業界の企業を見ることで視野を広げ、インターンシップや今後のキャリア選択に役立てる機会として位置づけられました。当日の各ブースでは、経営者・採用担当者、先輩社員が業界の位置づけや存在意義、そして自社の理念・ビジョン・業務内容等を学生に熱く語りました。学生も熱心に聞き入り、実りのあるセミナーとなりました。東北芸術工科大学とはインターンシップでも連携し、今年の夏季休暇には10社が12名の学生を受け入れています。

9月22日には、毎年恒例の山形大学学内合同企業説明会を開催。企業16社と学生13名が

参加しました。他大学の学生など、幅広い層の参加者が集い、企業は自社、業界、地域の魅力を伝え、学生からも積極的に質問がなされるなど、和気あいあいとした説明会となりました。参加学生からは「参考になった」「中小企業は何となく避けていたが参加してよかった」などの感想があり、中小企業と学生が直接語り合う場の重要性を再確認しました。

今後も、12月に第2回となる米沢女子短期大学での企業セミナー・合同企業説明会を開催し、冬季には各学校の就職支援担当者との懇談会も予定しています。山形同友会の共同求人活動は、単なる採用活動にとどまらず、採用から育成まで共同の力で取り組み、地域に人を残し育てる活動です。共同求人委員会は、これからも学校との連携を強め、若者が輝く企業づくり、地域づくりに取り組みます。



芸工大業界セミナー



山形大学内合説

第20回経営研究集会

激変の今こそ、変革の時

「人を生かす経営」の実践で、社員と共に未来を拓く



2023年 **11.29** (水) 受付/13:30
開会/14:00

会場 **パレスグランデール**
山形市荒橋町1-17-40 TEL 023-633-3313

会費 第1部(講演・グループ討論) **3,000円**
第2部(懇親会) **8,000円**

スケジュール

第1部	14:00~15:45	基調講演
	16:00~18:10	グループ討論
第2部	18:30~20:00	懇親会

報告者

東洋産業株式会社 代表取締役
ケミカル産業株式会社 代表取締役
玄地 学氏

(中同協経営労働副委員長・宮城同友会代表理事)

東洋産業株式会社

- 設立:1985年 ■ 資本金:1,800万円 ■ 年商:3億円
- 従業員数:10名 ■ <http://www.eco-toyo.co.jp/index.html>

ケミカル産業株式会社

- 設立:1966年 ■ 資本金:1,000万円 ■ 年商:4億8千万円
- 従業員数:19名 ■ <http://www.eco-chemical.co.jp/>
- 事業内容:清掃用品、厨房用洗浄剤、温浴施設洗浄システム販売・施工管理

経営指針づくりをとおして、自事業定義を総合衛生プロデュース業と定め、卸業から、モノづくりの可能性を見出し、メーカーとして自社製品を開発。現在では衛生業界の川下から川上までをトータルでサポートする体制を構築しています。事業領域を拡げるカギは「自社の強みと地域の困った探しの中にある」と語る玄地氏。「人を生かす経営」に学び、社員と共に経営指針を実践してきた報告から、激変の時代において未来のために、なすべきことは何か、企業変革を考える機会とします。

《申込み最終締切》 11月20日(月) ※11/21以降のキャンセルは参加費をご負担いただけます。ご了承ください。

ご挨拶

実行委員長 株晃永運輸 代表取締役 野口雅弘氏

コロナパンデミックが明け、日本の経済は混沌とした時代へ向かっています。働き方改革による労働時間問題や賃金問題、物価高騰や国際経済から見る日本経済の低迷など、いろいろな問題や課題が浮き彫りになっています。私たちはこの状況に常に打ち勝つ力を持たなければなりません。

皆様の会社では、経営指針から会社の方向性を示し、経営を行なっていると思いますが、どこを見据えて策定されているでしょうか。激変の今だからこそ、会社運営を見直し、実践することで様々な可能性が見えてきます。「人を生かす経営」の原点に立ち返り、社員と共に未来を切り拓く覚悟と実践こそが、10年後私たちが生き残るために必要ではないでしょうか。長期的なビジョンを見据え、企業の仕組みを構築し、社員と共に共感することを繰り返し、私たち経営者は最善の道を歩んでいきます。経営研究集会で同志の実践報告から多くのことを感じていただき、より良い企業づくりをしていただきたいと思います。

最後に、世の中に役立つ企業、地域で必要とされる企業、社員と共に共感できる企業を目指し、私たちだからこそ出来る企業経営を確立していきましょう。



参加申し込み、お問い合わせは、山形同友会事務局までご連絡ください。

■開会挨拶

後藤代表理事が、北海道・東北ブロック支部長・地区会長交流会の協力のお礼を述べた後、「現在は歴史の転換点にあり、経営指針作成だけでなく、見直しが必要になっている。経営指針をお互いに指摘し合う場合は貴重であり経営指針の同期会に取り組んでいただきたい。社会情勢として、また大きな戦争が起きようとしている。どこで何が起こるか分からない状況にあり、様々な可能性を考えていかななくてはならない。そして、日本は国として移民を増やす方針があるので、これから増えることが予想される外国人労働者についても情報を集める必要があるのではないか」と挨拶しました。

■学習会

●コーディネーター:後藤代表理事

冊子「人を生かす経営」の「人を生かす経営とは～中同協「労使見解」作成の経緯と今日的意義～」を読み合わせた後、労使関係における具体的な問題について、討論を行いました。

■報告事項

- 1)第51回青年経営者全国交流会(広島)9/14～15 9名参加
東海林氏より「全国から約2千5百名が参加。参加した第20分科会は見学科分で移動時間があり、グループ討論は50分ほどで、感想を述べるにとどまった。例会づくりでも、グループ討論をしっかりと組むことの重要性を再認識した。記念講演は二本立てで、1つ目は原爆の話がテーマで命の大切さについて何い、昨年の経営研究集会で藪氏がおっしゃっていた三命の話と通じる部分があるように感じた。同友会での学びを続けることで、学んだことに繋がりが生まれていくことが分かった」と報告がありました。
- 2)2023年度9月月次報告
矢作事務局長より報告がありました。
- 3)2023年度9月月次決算報告
矢作事務局長より報告がありました。

■承認事項(入・退会承認) 3名入会 4名退会 464名

■討議事項

- 議題1:北海道・東北ブロック支部長・地区会長交流会のまとめ
後藤代表理事より全体で102名が参加したこと、アンケート結果から非常に高い評価を得たことこの報告があった後、成果と課題の意見集約を行いました。
- 議題2:上半期の振り返り
川合代表理事より上半期の振り返りについて提案があり、承認されました。
- 議題3:第20回経営研究集会について
野口理事が、9月25日に中川座長と東洋産業(株)を訪問し玄地社長と打ち合わせを行い、「今まで上手くいった事例も通用しなくなるかもという危機感を持ち、変化を恐れずに前向きに実践していくことが重要と感じ、それを会員に伝えていきたい」と報告した後、参加目標は180名、参加費は記念講演3千円、懇親会8千円とする予算案を提案し、承認されました。
- 議題4:2024新春交流会について
小寺理事より1月19日(金)にル・ポットフーを会場として、他団体などにも呼びかけ450名目標で新春交流会を行う予定で準備を進めていることの報告があり、実行委員は庄内支部の幹事全員が担当し、各支部からも2名の実行委員選出の依頼があり、承認されました。
- 議題5:各委員会より

- 1)組織委員会
菅原委員長より各支部の進捗状況を確認し、11月の増強月間に向けた取り組みについて話し合ったこと、中小企業の海外展開のセミナーの確認、今後の同友会を知る会の開催要項を決めたこと、香川同友会の支部活動資料の例会企画書から目的を明確にした例会づくりについて問題提起を行ったと報告がありました。
- 2)社員共育委員会
東京同友会「三年目社員研修」視察 9/23
庄司委員長が、3～5年目の社員を対象とした研修の要望が出てきたことから東京同友会の三年目社員研修を視察したことを報告し、「山形では新入社員研修と幹部社員研修のみで、そこにギャップが生まれるため、東京同友会のように段階を踏まえて社員を育てる体系的な社員研修を、内容も含めて検討していきたい」と語りました。
・新入社員フォローアップ研修 10/5 57名(内15社・受講社員36名)

庄司委員長より「(株)プロットの五十嵐氏に新入社員自身のプランディングについてお話をいただき、半年間を振り返り、三年後の目標を設定する内容で行ったと報告がありました。

3)共同求人委員会

佐藤(啓)委員長より「山形県主催の県内の経営者と若手社員・学生との座談会が先週行われ、玉津副委員長が参加した。その模様が10月13日の「明日へのチカラ」で放送される」と報告がありました。

議題6:中同協環境経営委員会よりのアンケート依頼

- 1)同友エコ表彰
同友エコ2022-2023で外部審査委員賞を受賞したソーラーワールド(株)武内賢二氏に川合代表理事より表彰状の授与を行いました。
- 2)環境経営・エネルギーシフト・SDGs アンケートへの協力をお願い
阿部副代表理事が、アンケートは10月31日締め切りで現在10社が回答しており、「環境について自社がしなければならないことへの示唆が多く含まれている」と語り、アンケートの回答を呼びかけました。また、武内氏からも「山形同友会には環境への取り組みをしている会社が沢山ある。自社の現状を認識するという意味でも記入していただくと良い。毎年行われているので、現状確認からブラッシュアップするのにも使える」と呼びかけがありました。

議題7:行政・他機関・団体からの依頼などについて

- 1)経済産業省地域経済産業グループより依頼
矢作事務局長より地域経済分析システムRESASの普及活動をとおして、経営者の生の声に基づき充実させるため、まずは役員の方に説明の時間をいただきたいという依頼があったことが説明され、次回理事会後に説明会を行うことが決まりました。
- 2)山形県発明協会(山形県知財総合支援窓口)よりセミナー&ワークショップの案内・周知依頼
矢作事務局長より下記の要項で開かれることの説明があり、案内することが承認されました。
・庄内地域 日時:11月7日(火)13:30～16:30
会場:庄内地域産業振興センター
・置賜地域 日時:11月21日(火)13:30～16:30
会場:米沢信用金庫5階会議室
・最上地域 日時:12月12日(火)13:30～16:30
会場:新庄信用金庫6階ホール
・村山地域 日時:1月18日(木)13:30～16:30
会場:山形県高度技術研究開発センター

■その他

- 1)今後の予定について
・10月19日(木)第28期経営指針をつくる会プレ発表会(TISカンファレンスセンター)13:00～
・10月19日(木)～20日(金)第22回障害者問題全国交流会(愛知)
・10月24日(火)中小企業の海外展開を考える学習会(TISカンファレンスセンター)18:00～
・10月26日(木)中同協第2回幹事会(Zoom)
・10月27日(金)～28日(土)北海道・東北ブロック事務局長会議(岩手)
・11月9日(木)第28期経営指針をつくる会第5講(TISカンファレンスセンター)9:00～
・11月16日(木)～17日(金)2023共同求人・社員教育活動全国交流会(鹿児島)
・11月22日(水)幹部社員研修第3講(山形ビッグウィング)13:30～
・11月29日(水)第20回経営研究集会(パレスグランデール)14:00～
・1月12日(金)～13日(土)中同協第3回幹事会(東京)
・1月13日(土)北海道・東北ブロック代表者会議(東京)
・1月19日(金)2024新春交流会
- 2)今後の常任理事会と理事会について

第7回常任理事会	11月6日(月)16:00	第7回理事会	11月8日(水)15:00
第8回常任理事会	12月6日(水)16:00	第8回理事会	12月13日(水)15:00
第9回常任理事会	1月4日(水)16:00	第9回理事会	1月10日(水)15:00

■閉会挨拶

半澤専務理事より閉会の挨拶がありました。



◇ **海谷 康裕氏**
 山里菜(有)
 代表取締役社長
 食品卸・クラフトビール製造販売
 山形支部

◇ **前盛 直人氏**
 やまがたりクルーティングサポート
 代表
 人材採用・育成コンサルティング
 山形支部

◇ **佐藤 優氏**
 (株)メカニック
 代表取締役
 大型鉄鋼機械、器具製造設備設置
 庄内支部・酒田地区